

670TEU型国内最大内航コンテナ船 「ながら」竣工



2018年7月11日、井本商運株式会社は、山口県下関市の旭洋造船株式会社においてかねてより建造中であった670TEU型内航コンテナ船の命名引渡式、竣工祝賀会を行いました。この日は多数の関係者にお集まりいただき、総勢約60名の盛大な式典となりました。

命名引渡式では、当社社長井本隆之より「ながら」と名付けられました。続く支綱切断は当社社長夫人が執り行い、船長への記念品贈呈、盛大に花火があがるなか「ながら」は引き渡しされました。

本船を背景に記念撮影を行った後、下関グランドホテルに移動し、竣工祝賀会に移りました。井本社長からは船主挨拶の中で、命名の由来について「江戸時代の河川の舟運が当時のフィーダー輸送の役割を果たしていたことにあやかり、400TEU以上の大型船には、河川の名前を冠しています。また『ながら』は『長く』『良い』と書き、安全航海が長く続く良い船であってほしいという意味合いがあります」と説明がありました。

ご来賓の方々よりご挨拶をいただき、和やかな雰囲気のもと会がすすむ中、クライマックスイベントである関門海峡を航行する「ながら」に大きな歓声と拍手、同船の竣工を参加者全員で祝福しました。

